

第4回検討分科会で話し合われた内容

公園の基本機能	項目	主な内容
防災教育機能	公園のイメージ	・被災された方が公園で元気になるような何かシンボリックなものがあるとよい。
	遺構の扱い方	・災害から残った木の活用、被災した家跡等の表現を工夫してほしい。
	災害の伝え方	・写真や動画を使った展示をしてほしい。例えば、パークセンター内を使ってはどうか。 ・解説板などで災害時の様子を伝えてほしい。
	防災・自然学習	・自然や災害を学ぶ場、子どもたちが育つ場になるとよい。 ・砂防施設は教育効果があると思うので活用して欲しい。 ・島外からの観光客がキャンプ（宿泊）利用できるとよい。
地域振興機能	にぎわいづくり	・観光資源になるような催しや若い人が公園に集まるにぎわい空間づくりが必要ではないか。
環境・景観形成機能	隣接地との関係	・導流堤、堆積工は公園に隣接する施設としてふさわしいように統一感を持たせ、公園との調和を図ってほしい。 ・公園の祈りの広場に大金沢堆積工が隣接していることは、この土地の特性を表しているの、残して見せていくとよい。
	島の植物	・島の固有種を使ってはどうか。
	花と緑づくり	・学校で花を育てて公園に植える、みんなで植樹する等、住民参加の取り組みを行ってはどうか。 ・観光客に来てもらえるように花の見どころをつくってはどうか。
レクリエーション機能	広場面積	・スポーツ広場をもっと広くしてほしい。
その他	園内動線	・利用者が利用しやすい園路にしてほしい。
	住民参加	・ボランティア（清掃活動など）を行ってはどうか。 ・使う人が日常的なメンテナンスを行っていくルールづくりが必要である（スポーツ広場の清掃、片づけ等）。
	意見交換	・検討会を継続して実施してほしい。

たくさんのご意見の中から主要なものを抜粋しました。

- 【対応】
- ・ご意見は可能な範囲で反映させていきます。
 - ・これまでの議論を踏まえた計画について、報告会を4月頃に予定します。

【公園を構成する4つの基本機能】

＜防災教育機能＞ 犠牲者への追悼・鎮魂の場となるとともに、災害の教訓を後世に伝えていく公園
＜地域振興機能＞ 大島らしい魅力を活かし、島の活性化に寄与する公園
＜環境・景観形成機能＞ 失った緑を回復し、大島の美しい自然景観が感じられる公園
＜レクリエーション機能＞ 世代を問わず多くの町民の憩いの場となり親しめる公園

大島町元町地区

復興まちづくりニュースレター vol.6
(2016年2月発行)

大島町メモリアル公園について、皆さんからの意見をとりまとめました

第4回大島町メモリアル公園検討分科会を、平成27年12月2日（水）に開催しました。計画案について理解してもらうことを目的として、これまでのご意見を踏まえた資料を説明し、皆さんからの質問に大島町が答えました。主に、被災者への配慮、公園周辺との調和、公園維持管理等の質問がありました。

メモリアル公園の計画案については、この検討分科会において一定の成果を挙げる事ができたと考えています。公園の計画案を分かりやすく図にしたものを裏面に掲載しています。

なお、大島町メモリアル公園検討分科会は第4回をもって最後となります。今後はこの計画案を基に、公園を具体的な形にする作業を進めてまいります。



＜質疑応答で大島町が回答＞



＜計画案について模型で説明＞

【検討してきたこと】

開催回	開催日	内 容
第1回	平成27年 7月 9日	どんな公園にしたいか
第2回	平成27年 8月 5日	公園の計画案に対する要望
第3回	平成27年 9月 10日	各エリアに必要な施設や機能について
第4回	平成27年 12月 2日	公園の計画案について確認

大島町メモリアル公園についてのお問合せ

メモリアル公園に関するご質問がありましたら、下記までご連絡下さい。

大島町土砂災害復興推進室 復興整備係（佐藤・山田）
電話：2-1470 ファックス：2-1555 メールアドレス：fukkou@town.oshima.tokyo.jp

大島町メモリアル公園計画平面図（案）

第4回検討分科会で提示した案です。

これを基に、今後は整備に向けて公園を具体的な形にする作業を進めてまいります。

